資料3　アンケート調査票

B調査

職業訓練短期大学校卒業生の就業と意見に関する調査

職業能力開発大学校研修研究センター

下の欄の各項目について○印、または必要事項をご記入ください。

F1　性別	1．男 2．女	F2　年令 （平成6年7月31日現在）	才
F3　現住所	都道 府県	F4　卒業短大の所在地	都道 府県
F5　短大卒業年度	昭和 平成　　年3月	F6　卒業した訓練科	科
F7 勤め先事業所の従業員数 （パート、アルバイトは除く）	1　　1人 2　　2～　　4人 3　　5～　29人 4　30～　99人 5　100～　299人 6　300～　499人 7　500～　999人 8　1000～2999人 9　3000～ 10　官公庁		

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7

あなたの「現在の仕事」についておたずねします。大部分はあらかじめ用意された答の中からあてはまるものを選び、その番号に○印をつけていただくようになっていますが、質問によってはことばや数字等を記入していただくこともあります。

Q１　現在、きまった仕事についていますか。（一つ選択）

1

１．ついている　→　Q5以降へ
２．ついていない　→　Q2以降へ

Q２　いま「きまった仕事についていない」のはどのような理由によるものですか。（一つ選択）

2

１．自分の都合である　→　Q3へ
２．前に勤めていた会社等の都合によるものである　→　Q4へ

Q３　自分の都合とはどのようなものですか。（一つ選択）

１．家事に従事するため
２．健康を害したため
３．現在、就学中のため
４．自分にあった仕事がみつからないため
５．もっとよい再就職先を探すため
６．その他（　　）

→ Q13～Q20および Q29以降へ

3

Q４　会社等の都合とはどのようなものですか。（一つ選択）

１．事業所が閉鎖、倒産したから
２．事業が縮小され、合理化等により人員が整理されたから
３．希望退職の募集があったから
４．雇用契約期間が満了したから
５．その他

→ Q13～Q20 および Q29以降へ

4

Q５　現在の職場での従業上の地位は次のどれですか。（一つ選択）

１．雇われている
２．自分で事業をしている
３．自家営業の手伝いをしている
４．その他（　　）

5

Q６　現在の職場での身分は次のどれですか。（一つ選択）

１．正規職員
２．パート、アルバイト等臨時職員
３．その他（　　）

6

Q７　あなたが現在、主として従事している仕事は何ですか。別添の青い紙の表の中から該当する仕事を一つ選んで、〔　　〕の中に番号で記入して下さい。表の中に該当する仕事がない場合には、その仕事を文字で記入して下さい。

イ．職種名

〔　　〕

記入例
・０２
・２１
・７５

7 □

ロ．仕事の内容

〔　　〕

記入例
・自動車（小型乗用）のエンジンの部品の設計
・指定された会社を訪問して、電算機の保守やプログラムの開発について助言する
・設計図にもとづいて個人住宅の現場の管理をする

Q８　あなたが現在従事している仕事について、その仕事に習熟するのに最も効果的であったと思うのは次のいずれですか。（一つ選択）

１．上司、先輩等の指導
２．職場から派遣された研修会、講習会
３．職場における教育訓練
４．職場で仕事をしながら自然に
５．見よう見まねで
６．その他（　　）

8 □

Q９　あなたは現在の仕事をやり遂げるのに、十分な力を持っていますか。（一つ選択）

１．十分な力を持っていると思う
２．同僚と比べて、一人前の力は持っていると思う
３．まだ人の助けをかりねばならないことがある
４．まだ、わからないことや失敗がときどきある
５．わからない

9 □

Q10　あなたは、職場で必要としている知識や技能・技術について、職業訓練短期大学校（以下、単に「職訓短大」という）以外の他の２年制の教育機関（文部省の理工系短大、専門学校、入学時の年令は異なるが工業高等専門学校　等）を卒業したほぼ同年令の同僚に比べて、どのように感じていますか。（一つ選択）

１．職訓短大卒業者のほうが仕事ができると思う　→ Q11 以降へ
２．あまり変らないと思う　→ Q12 以降へ
３．他の教育機関卒業者のほうが仕事ができると思う
４．比較するほぼ同年令の同僚がいないのでわからない

10 □

Q11　あなたがQ10で「職訓短大卒業者のほうが仕事ができると思う」と答えた理由は何ですか。（一つ選択）

1．技能を身につけているから
2．専門的な知識・技術をもっているから
3．技能を身につけて、かつ専門的知識、技術を身につけているから
4．専門の知識、技能の他にも、周辺の知識、技能についても幅広く身につけているから

11 □

Q12　あなたは現在、次に示す①～⑤の設問について、どの程度、関心をお持ちでしょうか。それぞれ該当する番号について○印をつけて下さい。

	まったく関心がない	ほとんど関心がない	少し関心がある	関心がある	
① いまの勤め先で、特定の分野の専門家になること	1	2	3	4	12 □
② いまの勤め先で、いろんな仕事を幅広くこなせるようになること	1	2	3	4	13 □
③ いまの勤め先で、管理監督的な仕事につくこと	1	2	3	4	14 □
④ 勤め先を変わりながら特定の分野の専門家になること	1	2	3	4	15 □
⑤ 勤め先を変わりながら仕事を幅広くこなせるようになること	1	2	3	4	16 □

Q13　あなたは、職訓短大を卒業してから今日まで（転職経験のある人は、転職前の仕事も含めて）どのような仕事に従事してきましたか。あなたが従事してきた仕事を別添の青い紙の表中から選んで番号で順番に記入して下さい。表の中に該当する仕事がない場合には、その仕事を文字で記入して下さい。

一番はじめの仕事→ 二番目→ 三番目→ 四番目→ 五番目→ 六番目→ 七番目

記入例　67 → 32 → 02 → □

17 □

記入欄　□ → □ → □ → □ → □ → □ → □

Q14　転職についておたずねします。あなたは、職訓短大を卒業してから現在までに転職したことがありますか。（一つ選択）

1．ない　→ Q20以降へ（Q1で「現在、きまった仕事についていない」と答えた人はQ29へ）
2．ある（　　回）　→ Q15へ

18 □

Q15　最初の勤務先をやめた（転職した）理由は何でしたか。（一つ選択）

19

1．会社都合　　→　Q16へ
2．自己都合　　→　Q17へ

Q16　会社都合とは具体的にどのようなものでしたか。（一つ選択）

1．事業所が閉鎖、倒産したから
2．事業が縮小され、合理化等により人員が整理されたから
3．希望退職の募集があったから
4．雇用契約期間が満了したから
5．その他

20

Q17　自己都合とは、具体的にどのようなものでしたか。（三つ選択）

1．会社の将来に不安があったから
2．残業が多く、体がきつかったから
3．給料がやすかったから
4．仕事が短大で学んだことと異なっていたから
5．求人条件と待遇が異なっていたから
6．人間関係がわづらわしく、職場の雰囲気が悪かったから
7．通勤に不便だったから
8．病気になったから
9．進学のため
10．独立自営（家事従事）のため
11．仕事がむつかしすぎて、自分にはできなかったから
12．仕事が単調で面白くなかったから
13．作業環境が悪くて、健康のためによくなかったから
14．会社の名前が世間に知られていなかったから
15．寮などの福利厚生施設があまりよくなかったから
16．カッコよくなかったから
17．知人、友人にさそわれたから
18．転職先（再就職先）がみつかったから
19．その他

21

22

23

Q18　あなたがはじめて転職した時期は、はじめに就職してからどのくらいたったときでしたか。（一つ選択）

1．3ヶ月未満以内
2．3ヶ月～6ヶ月未満
3．6ヶ月～1年未満
4．1年～2年未満
5．3年以上

24

Q19 あなたがはじめて転職したのち、再び就職した会社での仕事の内容は、転職前の仕事と同じでしたか、それとも異なっていましたか。（一つ選択）

25

1．同じであった
2．異っていた

Q20 あなたは、自分の将来について、いまどのように考えていますか。（一つ選択）

1．いまの仕事に関する知識、技能、技術をみがき、専門職としてやっていきたい
2．いろいろな仕事をしてみたいので、とくにいまの仕事にはこだわらず、機会があれば他の仕事をしてみたい
3．とくに希望はなく、成りゆきにまかせる
4．わからない

26

Q21 あなたはずっと「いまの職場」に勤めるつもりですか。それともいつかは転職したりあるいは独立して自分で事業を始めるつもりですか。（一つ選択）

1．ずっと「いまの職場」に勤めたい
2．いつか独立して事業を始めたいと思う
3．独立は考えていないが、いまの職場をかえることはあると思う
4．その他（　　）

27

Q22 あなたは、現在の仕事をすすめる上で、自分の知識や技能・技術をもっと高める必要を感じていますか。（一つ選択）

1．非常に感じている　→ Q23へ
2．少し感じている　→ Q23へ
3．あまり感じていない　→ Q24へ
4．まったく感じていない　→ Q24へ

25

Q23 あなたがQ22で「非常に感じている」「少し感じている」と答えた理由は何ですか。（二つ以内を選択）

1．基礎的な知識、技能、技術を習得するため
2．新しい知識や技術の導入に対処するため
3．より高度な仕事をするため
4．現在の仕事に関連する周辺の知識、技能、技術を習得するため
5．すでに身につけている知識、技能、技術を見直すため
6．将来の管理、監督的な能力を身につけるため
7．資格を取得するため
8．職業人としての教養を深めるため
9．職場の配置転換に対応するため
10．今後の離転職に対応するため
11．その他（　　）

29

30

Q24　生涯学習の重要性が指摘されていますが、あなたは余暇時間を利用して学習に積極的に取組んでいますか。（一つ選択）

31

1．意識して取組んでいない　→ Q26へ
2．積極的に取組んでいる　→ Q25へ

Q25　その学習の目的は、職業生活に役立てるためでしょうか。それとも、職業には関係なく、自分の興味関心を満足させるためでしょうか。
現在していることと、これからしようとしていることとにわけて、具体的に書いて下さい。

	現在、していること	これからしたいこと
職業生活に備えたもの		
自分の興味・関心を満足させるもの		

32
33
34
35

Q26　仕事の能力を高めるためには教育訓練が大切ですが、そのために必要な時間は、どう確保するものだと思いますか。（一つ選択）

36

1．勤め先が確保する
2．自分で確保する
3．わからない

Q27　仕事の能力を高めるために必要な教育訓練の費用は、誰が確保するものだと思いますか。（一つ選択）

37

1．勤め先が負担する
2．自分で負担する
3．わからない

Q28　あなたは現在の仕事にやり甲斐を感じていますか。（一つ選択）

38

1．非常にやり甲斐を感じている
2．やり甲斐を感じている
3．格別やり甲斐は感じていない

Q29　あなたが卒業された職訓短大では在職者を対象とした短期間（3日～5日）の教育訓練コースが「能力開発セミナー」として開設されています。あなたは、このようなコースのあることを知っていましたか。（一つ選択）

39

1．知っている　　→ Q30へ
2．知らなかった　　→ Q31へ

Q30　受講したことがありますか。（一つ選択）

40

1．ある
2．ない

Q31　もし、機会があればこのようなコースを受講してみたいと思いますか。（一つ選択）

41

1．受講してみたいと思う
2．あまり関心はない
3．わからない

Q32　あなたは職訓短大の教育のうちどのような科目をもっと重視してほしかったと思いますか。（一つ選択）

1．実験・実習科目
2．専門学科目
3．数学、物理等の専門基礎学科目
4．人文・社会科学系の教養学科目
5．外国語（英語、英会話等）科目
6．その他

42

Q33　職訓短大のカリキュラムにも一般教養科目の単位は多くありますが、一般教養科目はどのような内容をもったものがよかったと思いますか。（一つ選択）

1．人生や社会について目を開かせてくれるもの
2．アカデミックな雰囲気のあるもの
3．社会や経済等、世の中の動きを理解させてくれるもの
4．専門学科で学ぶのに役立つもの
5．地域社会の経済・文化を理解するのに役立つもの
6．その他

43

Q34　あなたは、職訓短大の教育のうちで専門学科についてどう思いましたか。（一つ選択）

1．非常にむつかしかった
2．むつかしかった
3．ちょうどよかった
4．やさしかった
5．非常にやさしかった

44 □

Q35　職訓短大の教育は二カ年間ですが、あなたはこの期間で十分な勉強ができたと思いますか。（一つ選択）

1．カリキュラムの内容を整理すれば、もっと短い期間でもよかったと思う
2．教育期間を長くして、教育に幅と深みをもたせるようにしてもよいと思う
3．ちょうどよかった
4．わからない

45 □

Q36　あなたは、職訓短大卒業後、私的に短大を訪ねたり、学校祭に参加したことがありますか。（一つ選択）

1．ある
2．ない

46 □

Q37　あなたが職訓短大で学んだことは、あなたの今後の生活に役立つと思いますか。（一つ選択）

1．かならず役立つと思う
2．はっきりとはいえないが、役立つと思う
3．どちらともいえない
4．あまり役立つとは思われない
5．わからない

47 □

Q38　あなたは、高校の先輩や知人から職訓短大へ入学したいと相談を受けたらどのように答えますか。（一つ選択）

1．ぜひ入学するように、自身をもってすすめる　→　Q39へ
2．いい面と悪い面を説明して、相手の選択に任せる
3．決してすすめない　→　Q40へ
4．わからない

48 □

Q39　あなたが「入学することをすすめる」理由はどのようなものですか。（一つ選択）

1．専門的な知識、技能、技術が身につくから
2．授業料がやすいから
3．施設・設備が充実しているから
4．少人数教育だから
5．資格が取れるから
6．通学に便利だから
7．その他

49 □

Q40　あなたが、「入学することをすすめない」理由はどのようなものですか。（一つ選択）

1．教育期間が短く、学習が中途半端であるから
2．施設・設備が十分でないから
3．カリキュラムが過密で学校生活にゆとりがないから
4．カリキュラムが専門学科に偏っているから
5．カリキュラムが実験・実習科目に偏っているから
6．校名のもつイメージが悪いから
7．その他（　　）

50 □

学校や後輩たちへの助言、またはこの調査へのご意見、ご感想などございましたら、ご自由にお書き下さい。

これで質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

Q7およびQ13の回答はこの表の番号でお答え下さい。（この表に該当する番号がない場合は、文字で説明して下さい）

02	鉱工業技術者	金属精錬技術者 機械技術者 航空機技術者 造船技術者 電気技術者 化学技術者 窯業技術者 原子力技術者など
03	農林水産業・食品技術者	農業技術者 畜産技術者 林業技術者 水産技術者 食品技術者など
04	その他の技術者	建築技術者 土木技術者 測量技術者 情報処理技術者など
13	美術家、写真家、デザイナー	
18	会社・団体の管理職員	
19	その他の管理的職業	個人経営者
21	一般事務員	
22	会計事務員	
23	生産関連事務員	生産現場事務員 倉庫係事務員など
24	営業・販売関連事務員	
26	運輸・通信事務員	運輸・旅客・貨物係事務員 運行管理事務員 郵便・通信事務員など
27	その他の事務的職業	OA機器操作員など
31	商品販売の職業	小売店主・支配人 卸売店主・支配人 飲食店主・支配人 販売店員 商品訪問・移動販売従事者など
32	販売類似の職業	不動産仲介人・売買人 保険代理人・外交員 有価証券売買・仲立人 サービス外交員など
38	住居設備・ビル等の管理の職業	
41	自衛官	
43	その他の保安の職業	消防員 警備員など
46	農業の職業	農耕作業者 畜産作業者など
52	自動車運転の職業	乗用自動車運転者 貨物自動車運転者など
55	通信の職業	無線技術員 有線通信員など
63	窯業製品製造の職業	窯業原料工 ガラス製品形成工 陶磁器製造工など
66	金属材料製造の職業	製銑工、製鋼工 非鉄金属精練工 鋳物工 鍛造工 金属熱処理工など
67	化学製品製造の職業	化学工 石油精製工 化学繊維工 油脂加工工 医薬品・化粧品製造工など
68	金属加工の職業	金属工作機械工 金属プレス工 板金工 めっき工 針金製品・針・ばね製造工 金属研ま工 金属手仕上工 金属彫刻工 金属製家具・建具製造工 金属製品製造工など （一貫作業によるもの）
70	金属溶接・溶断の職業	電気溶接工 ガス溶接工、ガス切断工
71	一般機械器具組立・修理の職業	原動機組立工 金属加工機械組立工 その他の一般機械器具組立工 一般機械器具修理工
72	電気機械器具組立・修理の職業	発電機・電動機組立工・修理工 配電・制御装置組立工・修理工 民生用電子・電気機械器具組立工・修理工 電気通信機械器具組立工・修理工 電子応用機械器具組立工 半導体製品製造工 電球・電子管組立工 電子機器部品製造工など
74	輸送用機械器具組立・修理の職業	自動車整備・修理工 航空機組立工・整備工 鉄道車両組立工・修理工 船舶ぎ装工など
75	計器・光学機械器具組立・修理工	時計組立工・修理工 計器組立工・修理工 光学機械器具組立工・修理工 レンズ研ま工・調製工など
79	紡糸の職業	粗紡工・精紡工 合糸工・ねん糸工・加工糸工 揚返工・かせ取工など
80	織布・同関連の職業	織布工 漂白工・精練工 染色・仕上工 編物工・編立工 フェルト・不織布製造工

85	印刷・製本の職業	文字組版作業員 製版作業員 印刷作業員 印刷物光沢加工作業員 製本作業員など
86	ゴム・プラスチック製品製造の職業	ゴム工 ゴム製品製造工 タイヤ製造工・修理工 プラスチック製品成形工 プラスチック製品加工工 など
90	その他の技能工、生産工程の職業	内張工 表具師 塗装工 画工・看板工 製図工・写図工
91	定置機関・機械および建設機械運転の職業	起重機・巻上機運転工 ポンプ・ブロワー・コンプレッサー運転工 建設用機械運転工など
92	電気作業者	発電員・変電員 送電線架線工 配電線架線工 通信線架線工 電線電話機据付工・保守工 電気工事作業者
93	建設の職業	大工 型わく工 鉄筋工 とび工 れんが積工・タイル張工 屋根ふき工 左官 配管工・鉛工 畳工 熱絶縁工 内装仕上工 防水工など